



～思いやりの心と笑顔があふれ、  
一人一人の心の中に「ふるさと入間野小」を育む学校～

狭山市立入間野小学校

学校だより  
令和7年9月号  
☎04-2958-2718



# いるまの

<学校教育目標>

- ・仲よくする子
- ・考える子
- ・やりぬく子



## 猛暑の夏を乗り越えて

校長 宮原 礼典 ひろのり



44日間という長い夏休みが終わりました。市内の中学校では悲しい事故が起きてしまいましたが、本校では今年の夏休みも大きな事故の報告もなく、元気な子供たちの声が校舎に戻ってきました。今年も昨年同様、猛暑の日々が続きました。連日テレビやラジオ、市内の緊急放送等で熱中症予防への呼びかけが聞かれました。学校でもこまめな水分補給を行い、児童に注意喚起と共に啓発し続けていきます。

8月2日(土)3日(日)には、「狭山市入間川七夕まつり」が行われました。多くの方がお祭りを楽しんだことと思います。学校で作成した子供たちの願い事記した短冊は、PTAの方にもご協力いただいて真夏の炎天下の中、会場の笹に取り付けました。ご協力ありがとうございました。



私達教職員もこの夏季休業中に様々な研修を行ってきました。2学期に子供たちへより良い学びを提供できるよう準備してきました。7月24日には人権教育について研修を行い、25日には狭山消防署水野分署から3名の消防士の方をお招きして救急救命研修を行いました。28日には学校運営協議会を委員の方と教職員との合同で行い、グループワークで自分たちの意見を付箋で貼りだし、取り組んでみたいこと子供たちのためにできることを出し合い、とても実りある研修となりました。また8月に入りスクリーンでもお知らせいたしました学校保健委員会を25日に開催しました。ご本人がトランスジェンダーであるとカミングアウトされた現入間市市議会議員の細田智也氏をお招きして「LGBTの子供たちが抱える気持ちと必要な配慮について」でご講演いただきました。講演の中で「LGBTQに該当する人は全体の5～8%おり、血液型がAB型の人や左利きの人と同じくらいの割合」とお話があり、身近な存在であることを再確認しました。その他では、26日に入間野中学校区の先生方が南小学校に一堂に会して3校の連携について意見交換や協議が活発に行われ、より良い研修となりました。また、埼玉県学力・学習状況調査や入間地区で行った算数の学習調査の検証をし、今後の指導方針を再確認しました。27日には、体育館で体づくり運動や陸上運動などの体育の実技研修を行いました。たくさんの汗をかきながら体を動かす楽しさを我々教職員が改めて実感しました。夏季休業中に行ってきた様々な研修の成果を子供たちに実践し、一人一人に寄り添った教育を提供できるよう2学期も誠心誠意取り組んでいきます。



8月23日(土)おやじの会の方が中心となって「第1回入間野小ウォーターバトル」が開催されました。29名の児童と保護者の方が参加し、水鉄砲片手に頭のポイ(的)をめがけて打ち合いました。児童も大人もびしょ濡れ…。でもみんな大きな声を上げながら笑顔で楽しく行えました。来年以降も開催されると思いますので、ご都合を付けて是非参加してみてください。私も全身びしょ濡れでとても気持ちよかったです。

